

新委員長に石水氏

社会党本部「保革逆転」めざす

社会党本部の第四十三回定期大会が十一日、松山市味酒町一丁目のゴールドビル味酒で開かれ、代議員ら約百三十人が出席。当面の参院選、衆院選勝利による「保革逆転」月ぶり。



社会党本部の第四十三回定期大会が十一日、松山市味酒町一丁目のゴールドビル味酒で開かれ、代議員ら約百三十人が出席。当面の参院選、衆院選勝利による「保革逆転」月ぶり。

【冒頭いさつ】に立った田中恒利委員長は「県民が社会党に求めているのは、自民党から政権を奪うこと。衆参両院選挙での保革逆転に全エネルギーを投入したい」と決意を披露。緊迫する中国情勢にも触れ「北京では軍の発砲で、市民、学生多数が死傷した。中国は最も近く親しい国だが、この出来事は人道に許されない。日本政府の毅然たる態度を望む」と述べた。

役員改選では、衆参両院候補擁立や社会文化会館完成という懸案解決などを理由に委員長の意向を示していた田中代議員が顧問に退いた。新委員長には県歴が最も長い石水氏が四役推薦を受け、満場一致で選ばれた。石水新委員長も「リクルートゲート追及、消費税撤廃」などを強調するとともに国政選挙必勝を訴えた。

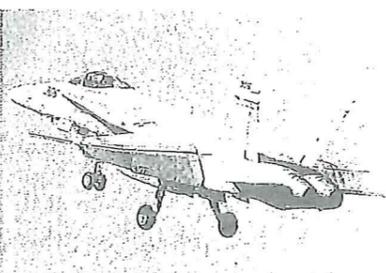
他の新役員は次の通り（〇は新任）
【副委員長】梅崎雪男、田中善一、〇笹田徳三郎
【書記長】成見憲治
【統制委員長】新谷義雄
【顧問】藤田高敏（特別執行委員長兼務）、〇田中恒利（同）、兵頭定雄、〇宇都宮真由美
石水清氏（いしみず・はるせい）宇摩郡連合青年団長を経て昭和29年、土居町議38年に今治市から県議初当選以来連続7期当選。日中友好協会全国本部副理事長。全日農連会長。旧制三島中退。土居町出身。66歳。

野村に米戦闘機墜落

山腹へ激突、爆発炎上

パイロット救出

十二日夕、東宇和郡野村町の山中に、米軍戦闘機F4Uが墜落、爆発炎上した。パイロットはパラシュートで隣の北宇和郡広見町の山中に降下、地元の人たちに救助され、救援に飛来した米軍ヘリで岩国基地へ向かった。墜落現場では山林火災が発生したが、雑木などがわずかに燃えただけで住民には被害はなかった。



墜落したF4Uホーネットの同型機

同日午後四時五十二分ごろ、東宇和郡野村町の通称抽山の山中に、戦闘機が墜落、炎上した。同所、鉄工所勤務大塚憲三さん（57）から野村署に通報があった。同署によると、この戦闘機は米軍岩国海兵第三三攻撃中隊所属のF4Uホーネット。乗員一人はパラシュートで脱出、北宇和郡広見町土屋の山林に無事降下、同町清水の町立愛治小学校に飛来した米軍ヘリで同五時四十七分、岩国基地に向かった。

岩国基地に向かった。目撃者の話では、戦闘機は三機編隊で野村町の東方向から低空で飛来し、うち一機がすさまじい音とともに山腹に激突、真っ赤な炎を噴き上げた。米軍岩国基地は事故後、野村署に「基地所属の飛行機が墜落した」と連絡してきたが、「通常の飛行訓練で実弾は積んでいなかった」とコメントしている。



米軍戦闘機墜落付近現場図

同日午後四時五十二分ごろ、東宇和郡野村町の通称抽山の山中に、戦闘機が墜落、炎上した。同所、鉄工所勤務大塚憲三さん（57）から野村署に通報があった。同署によると、この戦闘機は米軍岩国海兵第三三攻撃中隊所属のF4Uホーネット。乗員一人はパラシュートで脱出、北宇和郡広見町土屋の山林に無事降下、同町清水の町立愛治小学校に飛来した米軍ヘリで同五時四十七分、岩国基地に向かった。

【広島】東宇和郡野村町の山中に墜落炎上した戦闘機F4Uホーネットの所属する米軍岩国基地（山口県岩国市）は、十日配備が始まったばかりの新鋭AV8Bハリアイ垂直離着陸機など現在計約七十機が所属するアジア太平洋地域をならむ米海兵隊の前線拠点をF4Uは昭和六十二年七月、F4戦闘機部隊に代え、二個中隊計二十数機が岩国基地に配備された。全幅一・四、全長一七・一、攻撃行動半径は一千五以上。核兵器の搭載は可能で、その破壊力を持つ。同時にマッハ一・八以上の高速と優れた運動性能を誇り、実戦では対地攻撃をする同基地のAV8

核の搭載可能

米中関係で行動活発化

Bなどを援護し、上陸地点上空を制圧する攻撃的な任務といわれる。今回の事故を含め、F4Uの行動実態は明らかでないが、軍事評論家小川和久氏は「岩国基地の海兵隊は、朝鮮半島やソ連極東部を想定し、日常的に攻撃訓練をしている。米海兵隊唯一の海外派遣実戦部隊の第三海兵遠征軍（沖繩県）が指揮しており、中国の反体制物理学者方励之氏をめぐり米中関係悪化もあって行動が活発化している可能性が強い」と話している。岩国基地の監視活動を続け

正副議長人事で紛糾

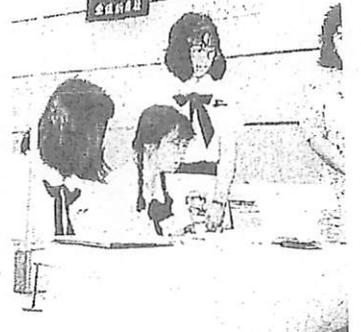
松山市議会 会期を延長 浄化を求める請願四件を、

鎮火した。野村署では県警本部や大洲署から応援を得て、現場付近の保存に当たるとともに、十三日午前八時半からの米軍岩国基地機体収容作業に合同捜査を申し入れる。本県では、一年前の昭和六十三年六月二十五日にも西宇和郡伊方町九町越の四国電力伊方原子力発電所付近に七人乗りの米軍ヘリが墜落、全員が死亡するという事故があり、米軍機の原上空中飛行が問題化し、国会でも議論された。その記憶も新しい十二日に再び米軍機がダム近くに墜落したことで同町民らは「野村の上空はよく戦闘機が通り、航路になっているようだ」と懸念が広がっており、おちおちして「おちおちして」と不安と憤りをのちのちにしている。

地軸 J R予土線から S Lが姿を消して 二十二年。その S Lが再び予土線に 帰ってくるようになった。この秋、たぐさんの S Lファンを乗せて、宇和島市の北宇和島駅と高知県窪川町の若井駅を結ぶ約七十六キロを、汽笛を鳴らし黒煙を吐きながらのんびりと走る。その後も S L復活の計画は昨年秋、宇和島市の議会関係者が地域おこしの起爆剤にしようと発案、沿線の町村に呼びかけたのがきっかけ。北宇和郡内だけでなく高知県側の町村も巻き込んで、誘致のための協議会を結成し、県境を越えての熱心な運動を続けてきた。 S Lは、今や貴重な存在のよう。最盛期には約六千両を数えた「陸の王者」も、旧国鉄の合理化計画の中で次々と廃止され、全国に残る S Lは現在、約五百余両。それも大半が公園や小学校に展示保存されている。眠れる S L。実際に動かせる状態のもの、 J R西日本の京都梅小路 S L館にある五両だけという寂しさ。今回予土線を快走するのは、この五両のうち、ポニーの愛称で親しまれる「C56型1160号」。昭和十四年生まれで四十年代後半に引退し、梅小路に移籍後は S Lブームに乗って各地のイベントなどに引っぱりだこの人気。先月も J R多度津一琴平間を走ってファンを喜ばせたばかりだ。△急坂を登る時のあえぎ、遠く長く尾をひく汽笛の悲しさ。ファンにとって S Lは、生きもののようだ。石炭の燃える独特のにおいが、幼い日に母の背で S Lに手を振

説明会には関東、近畿などの主な大学・短大二十七校の入試担当者らが出席。午後一時半からは県内高校、予備校の進学指導教師らが、前年度入試の結果や本年度の推薦入

目立った。会場では大学紹介パンフレット、入試資料も用意され、早くも「入試ムード」をたがよわせた。



入試担当者の説明を聞く女子

ると忘れ物が多くなりがちと注意を呼びかけている。**暴走族対策**……山

を起す率の高い若年対策を中心に進める必要がある」と指摘した。山本局長は社会問題化している暴走族についても構成員の八八%が少年で、うち七五%が捕縛歴のある点を強調、「暴走族取り締まりと並行して少年問題の観点から対処したい」と述べた。

今治海上保安部の調べで乗用車九百三十三台を含めて約五千九百ト。五千トを超え大型船を解体せずに引き上げするのは日本で初めて。

深田サルベージは、五月二十五日に準備作業を開始。現存ワイヤを通すつり環六十四の取り付けと油抜きを並行で行っている。十八日ごろは三千六百トの引き上げ能力を持つ大型クレーン船二隻を待つ大型クレーン船二隻到着し、早ければ今月末に海上させる。

県民に大きな不安与えた

伊賀知事 岩国基地などに抗議

十二日夜、東宇和郡野村町の山中に米海兵隊岩国基地のジェット戦闘機が墜落した事

に事故原因究明と安全対策の徹底を要請した。本県では昨年六月にも伊方原発近くで米軍ヘリが墜落しているだけに県では事態を重視、同日、県幹部が岩国と東京の関係機関に緊急派遣した。要請内容は「再度事故が発生し、県民に多大の不安を生じさせたことは誠に遺憾。原因究明と安全運航について、万全の措置を講ぜられるよう、強く要請する」というもの。

と不安感を与え誠に遺憾だ」と語り、前回事故も含め強く抗議するとともに航空機の安全運航の徹底と原因究明に万全を期すよう要請したことを明らかにした。

同知事はまた、土佐清水市の沖の米軍訓練海域と岩国基地を結び本県上空を頻りに飛行している点に触れ「県民の素直な気持ちとしては遠のいてほしい」と語った。しかし「米軍訓練については関係各省とも飛行コース、目的など実態把握が困難で的確な情報を得られない状況にある」と、大

が、同知事は引き続き要請していく考えを示し、さらに松山空港の航路進入管制権問題で「岩国基地の支配下から独立、改善してほしい」と念願している」と語った。

伊方原発上空の飛行回避を四電が再度申し入れ、東宇和郡野村町山中への米軍戦闘機墜落事故に関連して四国電力の吉岡正行原子力部長は十三日、米軍機が伊方原発上空を飛行しているのかどうか調べて、原発上空の飛行回避が一層図られるよう再度、関係省庁に申し入れるかどうか検討している」と述べた。



米軍機墜落で記者会見する伊賀知事

次々と降り立つ米海兵隊員。東宇和郡野村町の墜落現場付近

野村の米戦闘機墜落

記者会見で伊賀知事は「墜落事故は、県民に多大の衝撃

東宇和郡野村町山中への米軍戦闘機墜落事故で、社会党県本部と共産党県委員会は十三日、伊賀知事に対し、米軍に抗議するよう、それぞれ文書で要請した。両党はともに事故機が核搭載可能機だったことを重視、一年前伊方原発近くで起きた米軍ヘリ墜落に続く事故再発に対する県民の衝撃の大きさと憤りを訴えるとともに、わが国の責任による事故原因調査、原発上空飛行禁止の法制化などを求めている。

社会党は「昨年の事故後も相変わらず米軍機が原発上空を飛行していることは地元住民の証言でも明らかだ」とし、たうえで、米軍に対する事故原因公表や機体引き渡し拒否を含めた抗議を要請した。

一方、共産党は「在日米軍基地とそれを許す日米安保条約の危険性を改めて示すもの」と指摘。①米岩国基地撤去の検討と本県上空の飛行制限②米軍からの松山空港進入管制権返還③被害の完全補償と米軍の陳謝、関係者の処

八幡浜の母親殺し初公判同居していた病弱の母親を自宅で首を絞めて殺し殺人罪に問われた八幡浜市松柏、十木作業員井上武男被告(この初公判が十三日、松山地裁で開かれ、井上被告は起訴事実を全面的に認めた。冒頭陳述によると、井上被告は病弱の両親と同居、世話をしていたが、事件の直後に父親が死亡し、葬儀などで精神的、肉体的に疲れ、目や耳が不自由な母親の将来を案じ「いっせいで死んでしまっただが幸せ」と考え、さる三月三十日午前六時ごろ、身づくろい中の母親カズ子さん(当時七〇)をハンマーで殴りつけた上、首をしめ窒息死させた。

戦場

緊迫…調査始まる

住民に不安 飲み水大丈夫?

綾子ちゃん 殺

異常な行動に共通点 切断遺体 数日身近に置く

【飯能一増五郎】綾子ちゃん誘拐殺人事件の埼玉県警捜査本部は十四日までに、目撃証言などから遺体が同県飯能市富沢の富沢納骨堂に安置されたこと、また...

野村の米戦闘機墜落

原因公表阻む 機密のベール

訓練 それとも帰還中?

地元民に 目撃証言まちまち

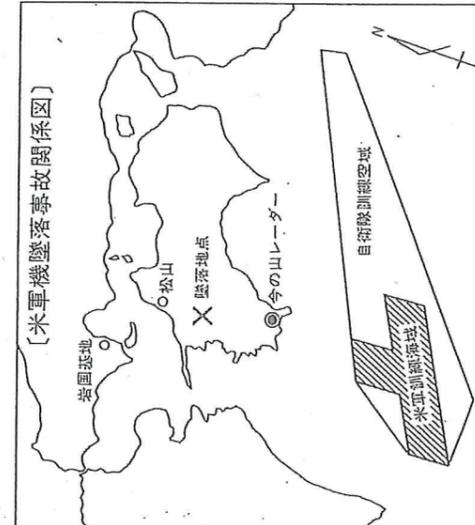
【米軍機墜落事故関係図】

岩国基地 松山 飯能基地 X 今の山レーダー

自衛隊訓練空域 米軍訓練空域

米軍機墜落事故関係図

野村の米戦闘機墜落は、十四日米軍岩国基地の調査、処理作業が進められた。墜落原因などは、軍事機密を理由に明らかにはされていない。「もし、野村や町の住宅地に落ちたら」と地元民の不安もあらわになり、真実は厚い日本安全保障の「壁」に阻まれている。



現在までの情報では、墜落は十四日午後四時五十分ごろ。目撃者の話では、進入方向は東、機も一機、二機と、まちまち。機が現場を離れ、別の二機が来たともされている。

機体の墜落直前の様子も、旋回して落ちた機体が炎を噴いていたとまちまち。なかには、墜落後の救護機の旋回と、事故当時の話が混乱し、証言も確定要素をはらんでいる。

非公式に伝えられた話では、事故直前、墜落機がA18ホーネットは、岩国基地帰還中、機体機能が完全でないとして、福岡航空交通管制部に、岩国への優先帰還を求めたこととされている。機体は高知県土佐清水市の清水航空無線機所の上空四、五キロを通過したのが確認された数分後にレーダーから消えたと言っている。

避難者の設置した高知県西開部の「今の山、航空監視レーダー」はその監視エリアが四国沖はるかに広域であることから、A18の墜落は、正常な状態でキャッチできていたと思われる。

野村町民は、これまでも軍用機の飛行があったと、岩国と高知は数日に一

は、事故直前、墜落機がA18ホーネットは、岩国基地帰還中、機体機能が完全でないとして、福岡航空交通管制部に、岩国への優先帰還を求めたこととされている。機体は高知県土佐清水市の清水航空無線機所の上空四、五キロを通過したのが確認された数分後にレーダーから消えたと言っている。

避難者の設置した高知県西開部の「今の山、航空監視レーダー」はその監視エリアが四国沖はるかに広域であることから、A18の墜落は、正常な状態でキャッチできていたと思われる。

野村町民は、これまでも軍用機の飛行があったと、岩国と高知は数日に一

「通常の飛行高度は、八千五百で、機音が聞こえる程度。それが四千ほど低く飛んでいたら、事故が起きる

野村町の空軍申し入れ 県、仲介断る

【飯能一増五郎】野村町の山崎磯町長は十四日、県調整振興部の担当者と会い、米軍戦闘機の墜落事故の原因究明と安全対策について町民の申し込書を米軍に手渡してもらうよう要

岩国基地司令官から陳謝の電報

【飯能一増五郎】野村町の山中に米軍機墜落した岩国基地のシェット戦闘機が墜落した事故で、ロバート・E・パス同基地司令官は十四日、今回の事故について陳謝する内容の電報を山崎磯町町長宛に寄せた。

内容は「このたびの事故に

対し心からまわし申し上げるとともに、今後の事故防止に努力致します。なお、関係者のご協力について感謝申し上げます」となっている。

事故後米軍側からは町に対して謝罪や陳謝は一切なく、関係者の一部に謝意が高まっていた。町民の中にも不安を隠しきれない状態が続いている。

で十四日までに、奈良時代に使用していたとされる遺物のためを埋めた施設が見つかった。

奈良時代の便所はこれまで資料がないため、詳細はほとんど分かっておらず、一般的に川や道端に垂れ流していたと考えられていた。今回の発見は人口二十万人といわれる奈良時代の都市生活を知る上で貴重な資料となりそうだ。

同市教委は便所であることを確認するため、かめの底にあった土を採取、帯広藩大

このかめは奈良時代後半に、宅地を分割して作られた遺跡の跡に位置し、公共的な施設の性格が強いが、どのように汚物を流していたかは分らない。地上に何らかの建造物があり、かめは便槽に当たると思われる。

奈良時代の屎処理については、平城京に隣接する礎に汚物を捨て、それを囚人たちが運ぶという記録があることと、屎は「ままる」を借用していたと考えられ、寺院内には公衆便所もあったらしい。調査を担当している井中が、一般庶民は側溝などに垂れ流していたとされている。当時の食生活は動物性タンパク質が少なく、臭気はあまり

奈良時代の便所とみられる

松山の集団赤痢終息

県が海外旅行者に防止文書

【飯能一増五郎】松山の集団赤痢発生について「今回の流行は終息した」と終息宣言をした。最初の患者発生から三十三日。また、海外渡航者の増加で、今回のケースのように赤痢などの伝染病の国内持ち込みの増加が予想されるため、県では県内の七十五の旅行者に対して、社員の家族が経営する暇

県は十四日、松山の集団赤痢発生について「今回の流行は終息した」と終息宣言をした。最初の患者発生から三十三日。また、海外渡航者の増加で、今回のケースのように赤痢などの伝染病の国内持ち込みの増加が予想されるため、県では県内の七十五の旅行者に対して、社員の家族が経営する暇

県では終息宣言の理由として、井戸水の消毒・汚水処理の改善工事完了▽接触検査の検便終了▽周辺地下水に汚染拡大がない▽今月一日以降、患者発生はなす休假期間が経過した一をあげている。また、十四日までに患者は全員退院した。

その責任を取り辞任。後任は竹井氏と同じ文部省から御手洗潔教育長を迎えた。さらに、大鶴英雄前教育長も十三日付で辞任した。

【飯能一増五郎】記者会見で「今回の一連の騒動も御手洗潔執行部の発議で一応決着した。野見山さんは人心一新が済んだので辞任した」と語った。

タンカーが座礁 中島の野瀬那島砂浜 十三日午後十時十分ごろ 温泉郡中島町野瀬那島又カ、

大阪の教組委

【飯能一増五郎】大阪府教育委員(菅野昭彦)の教諭で、組合の執行委員長(菅野昭彦)の担任するクラスの子供四人に「便器と紙をいれよう」といって、便器に紙をいれようといふことを命じた。委員は十四日までに、各論議機関に、高石市教委にも、論議は九月二十四日開始に予定している。同日、高石市教委は、この論議に出席する「便器と紙をいれよう」といって、便器に紙をいれようといふことを命じた。委員は十四日までに、各論議機関に、高石市教委にも、論議は九月二十四日開始に予定している。同日、高石市教委は、この論議に出席する

ロダンに触れる

「手で見える彫刻へのめめ展」の周辺

▷5◁

美術館の取り組み方一つで、視覚障害者の夢がかなえられる。三重県立美術館(三重県津市大谷町、陰里鉄郎館長)は、それを立証する数少ない公立美術館だ。申し出ればボランティアの人たちが誘導、自由に触って「見る」ことのできる作品は、同館所蔵の彫刻・工芸合わせて六十点余り。ニーズに応じて作品紹介もしてくれる。森本孝普及課長(左)の案内で同館を訪ねた。

「壁のない美術館」

島の娘が目についた。森本さんは「大きな帽子、貴婦人のイメージを持つ、左藤さんには珍しい素朴な彫塑ですよ」という。目を閉じて、触ってみた。ゴッコンとして、鼻が低い。左右のはおのふくらみも違う。島の娘の生活臭が伝わってくるようだ。

監視風のいない二階のロビーにも、佐藤の「丸い椅子」が横たわっている。も

五十七年九月にオープンした。視覚障害者にはうれしい「壁のない美術館」となったのは、五十九年の春に開いたイタリアの現代彫刻家ジャンコモ・マンズー展」がきっかけだった。「盲人に開放してほしい」という巨匠の意向で開かれた同展の開催以来、彫刻は触覚の芸術であることの認識が館内外で高まった。触ってほしい」と申し出る彫刻家も多かった。



奉仕団作り介添え

三重県立美術館

う一つのロビーには、郷土作家の陶器と木が三点。いずれも一坪以上の大作が床の上に並んでいる。

歴の上に「裸」で展示されている。ガラスケースもなければ、仕切りの「壁」もない。「すべて作家(著作権者)のOK済みです」と森本さん。

誤って作品が壊れないように誘導する役目もある。メンバーは、美術ファン、子育てを終えた市内の主婦が中心。手で「見る」ことによって、作家の魂に触れるような名作を一点でも多

く展示したい」と願う森本さんと同館八人の学芸員にとっては心強い「助っ人」だ。活動は、美術の広報、調査研究など。マンズー展以来、身障者のガイド役も買っている。輪番制で三人

故障で制御できず

野村の戦 米軍側、町に説明

東牟婁郡野村町の米軍機墜落事故で、米海軍隊岩国航空基地のウェズリー中佐二人が十七日町役場を訪れ、謝意を表明するとともに「墜落した戦闘機は高知県沖上空の訓練から帰る途中、急にコントロールできなくなり、今度の結果を招いてしまった」と、機体の一部に何らかの故障が生じたことを認めた。事故原因が、米軍関係者によって直接明らかにはされたのはこれが初めて。

同中佐とは、不在の山崎蔵町長に代わって岡田稔収入役と寺野登総務課長が会い、地元選出の池田忠幸県議が同席した。

関係者によると、このなかで米軍側は「伊方原発の上空を避けるため、普通着園からは西回りで海上を通っている。戦闘機はトラブルが発生

したあとでできるだけ海上を通りたかったが、コントロールできず東方方向に寄ってしまった。操縦士は町を避けて山中に墜落すると判断して、脱出を図った」と説明した。

さらに米軍側は「今回事故を起こしたグループは、八年前無事故だっただけに残念だ。もう二度とこのような事故は起こさない」と述べた。

しつこい「幅寄せ」は暴行

運輸手を 略式起訴

【名古屋】大きなトラックに「しつこく幅寄せ」され、怖い思いをした経験のあるマイカー族は少なくないはず。一般道路ならまだしも、高速道路でうなりを上げたトラックが迫ってきたら…。こんな不安にたえるように、名古屋区検は十七日、山梨県大月

市内の中央自動車道で昨年十一月、並走中のライトバンに幅寄せしたトラックの運転手を暴行罪などで名古屋簡裁に略式起訴した。

暴行罪にいう「暴行」は、殴打や足げりのような直接的な暴力行為だけでなく、麻酔薬をかかせるなどの「人の身体に対する一切の有形力の行使を含む」と従来から解釈されてはいるが、幅寄せ行為に暴行罪を適用するのは極めて珍しいという。

略式起訴されたのは愛知県西春日井郡師勝町のトラック運転手A(仮名)。

珍種大トロ
朝ハツと傘開く

甲B第166号証7